

児童デイゆめときわ2 放課後等デイサービス事業所自己評価表（公表）

公表日：令和4年3月15日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2	2	限られたスペースの中でも、個室を活用したり、家具の配置などを工夫して安全に努めている。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			人員配置基準を満たしたうえで、適切に配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4	2	外階段に手すりは設置したが、エレベーターやスロープ等もない建物の3階のため、身体に障がいのある児童にとっては利用しづらい可能性がある。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	3	1	個人差があるため、互いに声をかけ合いながら意識を高めていく必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		例年実施している保護者に対しての事業所評価だけでなく、普段の保護者とのやり取りの中でも意向があれば共有し、日々の支援に活かしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			事業所内に掲示、および、ホームページへの掲載を毎年行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	4	外部評価は現在行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			定期的に社内勉強会を実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			児発管が主となって、アセスメントを基に事業所内で会議を行いながら計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			事業所内でツールを用いた検査は実施していないが、保護者や相談支援事業所を介して、発達センターなどで受けた発達検査の結果を提供してもらい、支援に反映させている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		活動内容は職員全体で共有し、同じ方向性で行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2		一部固定化されてしまうこともあるが、日々の情報共有を重ねて新しい課題を見つけるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	2		平日は児童ごとの課題を中心に取り組み、平日や長期休暇には、集団活動も織り交ぜながら活動している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		子ども達ひとりひとりの特性を見極めながら、児発管が中心となって作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	3		より質の高い支援ができるよう、今後さらに力を入れていく必要がある。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2		単純に振り返って共有するだけでなく、課題点を抽出して今後の支援に活かしていくようにしている。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2		毎日、連絡帳にて記録を残している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			児発管が主になって行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	3		地域交流の機会に関してはコロナ禍ということもあり希薄ではあるが、創作活動や余暇の提供は積極的に行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			主に児発管が参加。必要に応じて現場で支援にあたっている職員にも参加してもらっている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			適切に行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当児童無し
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	5		相談支援事業所を通して情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		6	1	現在のところ対象となる児童はいない。必要に応じて対応を行っていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3		保護者を介して発達センター受診時に受けた助言を伺ったり、必要に応じて相談支援事業所と連絡を取りながら連携している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	5	コロナ禍ということもあり、交流はできていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		3	4	協議会主催のリモート研修などの案内はあるが、積極的な参加はできていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2		送迎時や連絡帳を介して、共通理解を深める努力をしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4	3	プログラムとして行ってはいるが、保護者の様子の変化などにもすぐ気づけるよう努め、どのように対応するかも話し合ったりしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		契約時に児発管から説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	3		偏った意見やアドバイスにならないよう、保護者の気持ちに寄り添いながら支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	3		今年度も引き続きコロナ禍であったが、規模を縮小するなど感染対策を講じたうえで保護者会を行った。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	3		迅速に対応するだけでなく、対応後も不満が残らないようアフターケアを心がけるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			毎月、会報(ゆめ通信)や月間予定表を配布している。掲載内容も、できるだけわかりやすいものになるよう努めている。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			個人情報が記載されたファイル類は鍵付きキャビネットにて保管している。また、職員が業務上知り得た情報は部外者には口外しないよう徹底している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			できるだけ短く分かりやすいように伝えたり、視覚的な情報も活用しながら配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	5	町内会に加入しているが、事業所運営には活かされてはいない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1		各マニュアルを準備し、定期的に訓練を実施している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			事業所内で研修を行い、虐待防止に対する理解を深めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			現在のところ、該当児童はいない。 今後やむを得ない拘束が必要になった場合でも、速やかに対応できるよう体制は整えている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			医師からの指示書は無いが、契約時にアレルギーの有無を保護者に確認し、対応に気を付けている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	3		ヒヤリハットに該当する事例はほぼ毎日のようにある。口頭での共有はしているが、報告書としての共有はまだまだ不十分であるため改善が必要。